

【ユニット】 地域医療とチーム医療

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 金田 光平（医学教育センター） 井上 直子（医学教育センター）
鈴木 正（教養教育） 小池 啓子（医学教育センター）

【一般的な目標】

医師は病気の治療や予防のために診療や保健指導などを行い、ひとの生命・生活・人生に深くかかわる職業である。また、医師は医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保する（医師法第1条）という社会的責任がある。少子高齢化や医療費増大、人口減少社会を迎える地域社会・医療の課題を解決するために必要な基本的な知識、技能、態度、価値観を身につけることを通して、将来地域・社会で役に立つ医師になるための素養を育む。なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラム（応用基礎レベル）になっている。応用基礎レベルは、データやAIを活用して自身の課題解決につなげる基礎能力を修得すること、将来の医療にAI等の情報通信技術を応用するための大局的な視点を獲得することを目的としている。

【具体的な目標】

1年生の地域ユニットでは「生老病死障害」、「コミュニケーション」及び「ケアし・ケアされる自分」など、ヒューマンケアについて学んだ。2年生では患者を含む地域で生活する人々のQOL（Quality of life）の向上のために3つのLife（生命、生活、人生）を支えるひと、地域、社会の仕組みや医師の法的な責務、医療経済、医療政策などの知識の習得と、それらを踏まえた地域で他の専門職を含む様々なひとと連携するために必要な技能と態度について学んだ。3年生では、これらを踏まえて、臨床医が理解しておくべきリハビリテーションや診療報酬、高齢者医療と死、医療の質、リハビリテーションに関する知識を学び、社会が求める医師の役割を理解する。

1. 埼玉県地域医療の現状と課題を説明できる。 マイルストーン 9-(1)
2. 地域の健康課題に対する実践的な取り組みについて説明できる。 マイルストーン 9-(1)
3. 医師が診療情報を取り扱う際に留意すべきことについて説明できる。
4. 我が国の診療報酬体系について説明できる。 マイルストーン 9-(1)
5. 医療の質とクリティカルパスについて説明できる。
6. 加齢と高齢者の特徴について説明できる。 マイルストーン 2-(5)
7. 高齢者医療・ケアにおいて医師が持つべき視点について説明できる。 マイルストーン 9-(1)
8. 病歴・身体診察を重視した診断推理の方法について説明できる。
9. 地域包括ケアシステムを構成する保健医療福祉介護の資源について説明できる。 マイルストーン 8-(2)
10. リハビリテーションの概念と方法について説明できる。
11. 地域におけるチーム医療の基本である地域基盤型IPWに必要な視点を説明できる。 マイルストーン 7-(1)
12. チーム活動を通して、自己とチームメンバーの専門性や立場を理解し、自己の役割と能力の限界について説明できる。 マイルストーン 7-(1)
13. 末期がん罹患している模擬患者から情報を収集し、チームメンバーで患者の望むケアについて話し合うことができる。
14. 感染症流行状況の記述とデータ分析に基づいて感染症に対応するために必要な知識について概説できる。 マイルストーン 2-(6)

質問等は、授業時間内、または出席課題の用紙に記載する事によって、UD, UD 補佐が講義担当者に回答を依頼する。

【学習方法】

このユニットでは、学内外の実践者を講師として迎え、臨床現場で地域医療を行う上で必要な知識や考え方についての講義が行われる。受講時には、主体的に参加し、その領域で大切にしている価値観や必須の知識、基本的考え方を理解することが必要である。

講義の事前学習や講義中または講義終了後の理解度を確認するために WebClass を用いることがあるので、講義の日には WebClass にアクセスできるよう PC や ipad、iphone などを持参しておくこと。

1. 講義をしっかり聞いて、重要な点についてはメモやノートに記録する。
2. 重要な術語は、講義を聞いた後自ら調べる等してまとめておく。
3. CBT や国家試験でも必要とされる知識（重要な術語）については理解し覚える。
4. 本ユニットが評価を担当しているマイルストーンについて説明できるように復習する。
5. ユニットの最初の授業では、受講の仕方、ユニット内のルールなどについて説明するので、必ず出席すること。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、授業に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

本ユニットは演習ユニットのため、75%以上の出席を求める。やむを得ない理由以外で出席不良の場合には、評価の対象とならないので、十分注意すること。

ユニットの最後の講義で、ユニット内試験を行う。ユニットの評価は、ユニット内試験の結果と講義内で行われるグループワークの参加態度やレポートの提出状況、提出内容で総合的に評価する。必要がある場合には再評価を行う。

マイルストーン評価は、該当する講義の出席要件の小課題、レポート、ユニット内試験で評価を行う。マイルストーン評価で不合格の場合には、補習を行い再評価を行う。

【教科書】

- ◆ 国試・改訂コアカリ対応 地域医療学入門（診断と治療社）第2版（2024年）

【参考書】

- ◆ 保健・医療・福祉のための 専門職連携教育プログラム 2019年 ミネルヴァ書房出版
- ◆ 新しい IPW を学ぼう―利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携― 埼玉県立大学編 2022年4月20日発行 中央法規出版
- ◆ 朝倉内科学書(第11版) I
- ◆ 内科診断学第4版 医学書院
- ◆ 美しい死（森亘 著）アドスリー
- ◆ 治療的自己（日本診療内科学会治療的自己評価基準作成委員会 訳）アドスリー
- ◆ 人生の最終章を考える（医療科学研究所 監修）法研
- ◆ 現代リハビリテーション医学 第3版 金原出版
- ◆ 感染症疫学ハンドブック（谷口清州 著）. 医学書院
- ◆ 感染症疫学のためのデータ分析入門(西浦博 編著). 金芳堂

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域01	04月07日	(火)	3	診療情報学	木下 (総合診療内科)
地域02	04月13日	(月)	3	保険診療のしくみ	柴崎 (医学教育学)
地域03	04月17日	(金)	1	高齢者を理解する1	本間 (医学教育C)
地域04	04月17日	(金)	2	高齢者を理解する2	本間 (医学教育C)
地域05	06月15日	(月)	1	医療の質とクリティカルパス	小山 (国セ消化器外科)
地域06	09月08日	(火)	4	地域リハビリテーション	齊藤 (霞ヶ関南病院理事 長) 柴崎 (医学教育学)
地域07	09月14日	(月)	4	リハビリテーション概論	丸山 (国セリハビリ科)
地域08	09月14日	(月)	5	リハビリテーションとチーム医療	丸山 (国セリハビリ科)
地域09	09月15日	(火)	1	エンドオブライフケアと尊厳死	内田 (国セ緩和医療科)
地域10	09月17日	(木)	3	良医とは何か	江利川 (医療政策学) 金田 (医学教育C)
地域11	09月29日	(火)	1	総合診療と在宅医療1	大和 (共済病院) 柴崎 (医学教育学)
地域12	09月29日	(火)	2	総合診療と在宅医療2	大和 (共済病院) 柴崎 (医学教育学)
地域13	12月03日	(木)	2	公衆衛生・地域保健の視点に立った 感染症対策	本多 (県保健医療部) 柴崎 (医学教育学)
地域14	12月03日	(木)	3	地域感染症のフィールド疫学と理論 疫学	荒木 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
地域15	12月04日	(金)	3	IPW演習1	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C)
地域16	12月04日	(金)	4	IPW演習2	柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 金田 (医学教育C) 高橋 (地域医学推進C) 宮崎 (社会医学) 杉浦 (医学教育C) 荒木 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 小池 (医学教育C) 本橋 (医学教育C)
地域17	12月04日	(金)	5	IPW演習3	柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 金田 (医学教育C) 高橋 (地域医学推進C) 宮崎 (社会医学) 杉浦 (医学教育C) 荒木 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 小池 (医学教育C) 本橋 (医学教育C)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域18	12月04日	(金)	6	IPW演習4	柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 金田 (医学教育C) 高橋 (地域医学推進C) 宮崎 (社会医学) 杉浦 (医学教育C) 荒木 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 小池 (医学教育C) 本橋 (医学教育C)
地域19	12月14日	(月)	4～6	地域感染症のデータサイエンス演習 1-3	荒木 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
地域20	12月21日	(月)	3	地域感染症のデータサイエンス演習 まとめ	荒木 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C)
地域21	12月23日	(水)	4	埼玉県地域医療	丸木 (埼玉県医師会) 金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域22	01月08日	(金)	1	チーム医療	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 植村 (社会医学)
地域23	01月14日	(木)	3	まとめ (ユニット内テスト)	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C) 米岡 (教養教育)

【備 考】

本ユニットの一部は彩の国連携力育成プロジェクトによる彩の国連携科目「IPW 演習」該当科目である。
また、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業教育プログラム2に該当する。本ユニット終了までにマイルストーンが達成できるようにマイルストーンを意識しながら講義を受講すること。
【令和4年度モデルコアカリキュラム対応】

PR-01-01-01 患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。

PR-01-01-02 社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。

PR-01-02-01 自分自身の限界を適切に認識し行動する。

PR-01-02-02 他者からのフィードバックを適切に受け入れる。

PR-02-01-01 患者を含めた他者に思いやりをもって接する。

PR-02-01-02 他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。

PR-02-02-01 自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。

PR-02-02-02 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。

PR-02-03-01 医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

PR-03-01-02 答えのない問いについて考え続ける。

PR-04-01-02 多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。

GE-01-01-01 臓器横断的に医学的課題を捉えることかゝる。

GE-01-01-02 適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。

- GE-01-01-03 基本的なフレームワーク（頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチ、二重過程理論、事前確率等）を用いて臨床推論を行うことができる。
- GE-01-01-04 主訴に応じ、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる。
- GE-01-01-05 診断がつかない健康問題やその介入方法の概要を理解している。
- GE-01-04-01 根拠に基づいた医療（EBM）の5つのステップを挙げてできる。
- GE-01-04-02 PICO（PECO）を用いた問題の定式化ができる。
- GE-01-06-01 緩和ケアの概念を理解した上で、全人的苦痛（身体的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルペイン）を評価できる。
- GE-02-04-01 在宅医療の現状と適応を踏まえて、その必要性や課題の概要を理解している。
- GE-02-04-02 在宅における緩和ケアや人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題の概要を理解している。
- GE-03-05-02 高齢者総合機能評価を実施できる。
- GE-03-05-03 老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食嚥下障害等）について理解している。
- GE-03-05-04 フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。
- GE-03-05-05 国際生活機能分類について理解している。
- GE-03-05-07 日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。
- GE-03-06-01 死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。
- GE-03-06-02 死に至る身体と心の過程の知識を活用して、患者や家族がもつ死生観を配慮できる。
- GE-03-06-03 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）について理解している。
- GE-03-06-05 ACP、事前指示書遵守、延命治療、蘇生不要指示、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控え等について理解している。
- GE-03-06-06 悲嘆のケア（グリーフケア）について理解している。
- LL-02-01-01 後輩や同僚等と協働して学修できる。
- LL-02-01-02 後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
- CS-02-04-45 リハビリテーションの概念と適応について理解している。
- CS-02-04-46 機能障害と日常生活動作の評価ができる。
- CS-02-04-47 理学療法、作業療法と言語聴覚療法について概要を理解している。
- IP-01-01-01 患者・利用者・家族に関連する情報について、多職種及び他の医療系学部の学生と共有できる。
- IP-01-02-01 多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
- IP-02-01-01 自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。
- IP-02-01-02 多職種及び他の医療系学部の学生の中で自らの役割を果たすことができる。
- IP-02-02-01 多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。
- IP-02-02-02 対人関係や対人行動に関わる概念について理解している。
- IP-02-03-01 医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。
- IP-02-03-02 自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。
- S0-02-02-06 急性感染症に特異的な疫学的アプローチを理解している。
- S0-06-01-01 日常生活や外来診療・在宅療養・入院・施設入所等において、健康・病気・死の捉え方を探索できる。